

第6学年 外国語科 学習構想案

日 時 令和3年11月30日（火）第5校時
 場 所 2階多目的室
 指導者 T1：教諭 岡田 慧
 T2：ALT グレース・チャン

1 単元構想

単元名	「Let's think about our food.」（東京書籍 New Horizon Elementary Unit 6 p.50～）		
単元の目標	(1) 食材の産地や栄養素などについて、聞いたり言ったりすることができる。また、例文を参考にし て食材の産地や栄養素を書くことができる。〔知識及び技能〕 (2) 世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、 簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。〔思考力、判断 力、表現力等〕 (3) 相手に伝わる工夫をしながら、食材の産地や栄養素などについて伝え合おうとする。〔学びに向 かう力、人間性等〕		
単元の 評価 規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「聞くこと」イ <知識> 食材の名前や「～ is from …」 「～ is in the … group.」などについて理解している。 <技能> 食材の産地や栄養素などについて、聞き取る技能を身に付けている。	「聞くこと」イ お互いの考えや好み、世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、具体的な情報を聞き取っている。	「聞くこと」イ お互いの考えや好み、世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
	「話すこと（やり取り）」イ <知識> 食材の名前や「～ is from …」 「～ is in the … group.」などについて理解している。 <技能> 知識を使って、お互いの考えや知っている情報を伝え合う技能を身に付けている。	「話すこと（やり取り）」イ お互いの考えや好み、世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えたオリジナル給食メニューを伝え合っている。	「話すこと（やり取り）」イ お互いの考えや好み、世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えたオリジナル給食メニューを伝え合おうとしている。
	【読むこと】【書くこと】 ※本単元における「読むこと」及び「書くこと」については、目標達成に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。		
単元終了時の児童の姿			
お互いの考えや好みをよく知ったり、世界と日本との関係を知ったりするために、食材の産地や食べ物の栄養素などについて、必要な語句を使って、相手に配慮しながら自分だけのオリジナル給食メニューを伝え合っている児童。			
単元を通じた学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
お互いの考えや好み、世界と日本とのつながりをよく知るために、自分だけのオリジナル給食メニューを考え、友達やALTの先生に伝え合おう。		相手の興味・関心に応じて伝える内容を付け加えるなどの工夫をすること。また、他教科で学んだことと外国語の学習を結び付けながら、お互いの考えを伝え合うこと。	
指導計画と評価計画（9時間取扱い 本時6/9）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
—	2	○単元の学習内容とめあてを確認し、学習計画を立てる。 ○登場人物の食べたもの、食材の産地、栄養素などについてのまとまった話を聞いて、その具体的な情報を聞き取る。	【聞くこと】<知識・技能>（行動観察） 【話すこと（やり取り）】<知識・技能>（行動観察）
	2	○食材の産地について尋ね合う。 ○食べ物がどの栄養素のグループに入るか伝え合う。	【聞くこと】<知識・技能>（行動観察） 【話すこと（やり取り）】<知識・技能>（行動観察）

二	3	<p>○食べ物の産地や栄養素などを考慮して、オリジナルの給食メニューを考える。</p> <p>○作成したオリジナル給食メニューを友達に伝え合う。(本時)</p> <p>○自分の考えた給食メニューについて、例文を参考にして使用した食材や産地、栄養素などを英語で書く。</p>	<p>【聞くこと】</p> <p><思考・判断・表現> (行動観察)</p> <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <p>【話すこと(やり取り)】</p> <p><思考・判断・表現> (行動観察)</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> (行動観察)</p>
三	2	<p>○外国から来る食べ物や、日本の食材ごとの食糧自給率などについて考える。</p> <p>○学習したことを生かして、オリジナル給食メニューをALTに伝える。</p>	<p>【聞くこと】</p> <p>★<知識・技能> (行動観察・学習シート)</p> <p>食材の産地や栄養素などについて、聞き取ることができる。</p> <p>★<思考・判断・表現> (行動観察・学習シート)</p> <p>世界と日本との関係やお互いのことをよく知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、具体的な情報を聞き取っている。</p> <p>★<主体的に学習に取り組む態度> (行動観察・学習シート)</p> <p>世界と日本との関係やお互いのことをよく知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>【話すこと(やり取り)】</p> <p>★<知識・技能> (行動観察・学習シート)</p> <p>「～ is from」「～ is in the ... group.」などの英語を使って、お互いの考えや知っている情報を伝え合っている。</p> <p>★<思考・判断・表現> (行動観察・学習シート)</p> <p>世界と日本との関係やお互いのことをよく知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合っている。</p> <p>★<主体的に学習に取り組む態度> (行動観察・学習シート)</p> <p>世界と日本との関係やお互いのことをよく知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。</p>

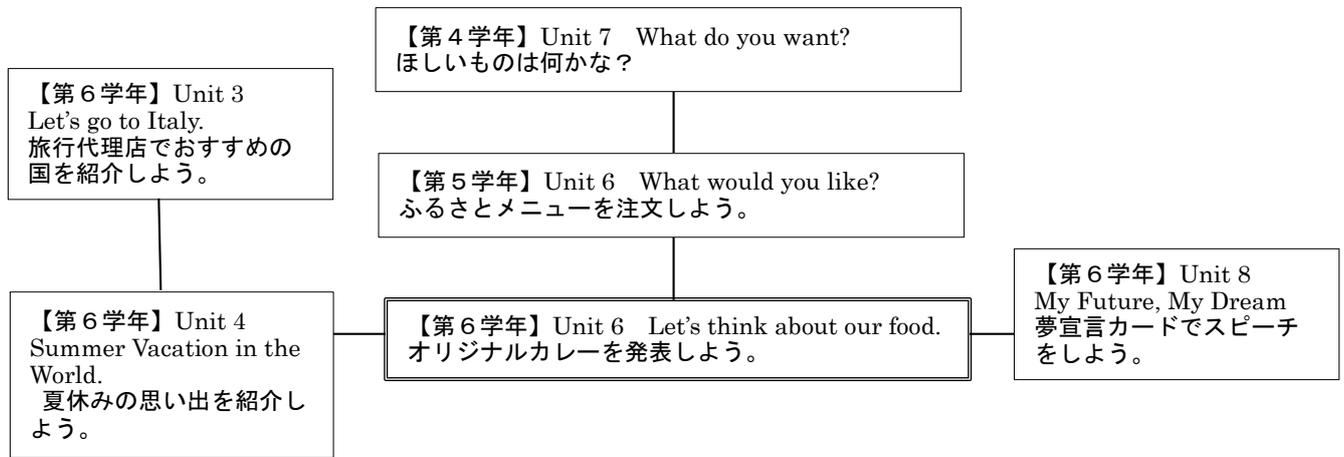
2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)
<p>小学校学習指導要領 第10節 外国語 2 内容</p> <p>〔知識及び技能〕</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>ア 聞くこと</p> <p>(イ) 日付や時刻、値段などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。</p> <p>ウ 話すこと〔やり取り〕</p> <p>(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。</p>

教材・題材の価値

本単元は、「オリジナル給食メニューをつくろう」という話題を通して、自分の経験、好みや、他教科でこれまでに学習したことを結び付けながら表現に慣れ親しむことが期待できる。また、世界の食糧事情や日本の食糧自給率、食材の産地などについて知ることで、自分たちの食生活が世界とのつながりによって成り立っていることに気付き、考えを広げたり、文化に対する理解を深めたりするのに適している。

本単元における系統



児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）

■本単元を学習するに当たって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況

調査内容	できる	%
国の名前や食べ物の名前など、簡単な英語を理解している。	35 / 39	90
eat, ate, like などの英語を使って、食べたものや自分の好きなものを伝えることができる。	36 / 39	92
It's ~ などの表現を使って、感想などを英語で伝えることができる。	28 / 39	72

■本単元の学習に関する意識の状況

調査内容	とても	まあまあ	あまり	ない
外国語の学習は好きである。	20	17	1	1
相手の話に反応を返しながらか話を続けようとしていると思う。	19	13	7	0
知っている英語の表現を使って、簡単なやり取りができていると思う。	25	11	3	0
初めて学習する言葉や表現を繰り返し練習し、使おうとしている。	21	12	6	0

■考察

（資質・能力に関して）

単元「U3 旅行代理店でおすすめの国を紹介しよう。」「U4 夏休みの思い出を紹介しよう。」では、ほとんどの児童が国の名前を使って自分の行きたい国やその国のおすすめについて話したり、過去のことを表す表現を使って食べたものなどを伝えたりすることができていた。一方で、「It's ~」を使って相手の話に対する感想を伝えるなど即興的なやり取りをすることについては、できる児童の割合が減り、課題があると言える。

（学びに関して）

外国語の学習について、ほとんどの児童が意欲的に感じている。しかし、相手の話に反応を返しながらか話を続けようとすることや、知っている英語の表現を使って簡単なやり取りをしようとするには苦手意識を感じている児童もあり、課題があると言える。

3 指導に当たっての留意点

- 単元のゴールを「お互いの考えや好み、世界と日本とのつながりをよく知るために、自分だけのオリジナル給食メニューを考え、友達やALTの先生に伝え合おう」と設定し、単元のゴールを児童と共有することで、学習への見通しと意欲の継続につなげる。
- 児童の考えたメニューから、実際の給食メニューとなる候補を学校栄養職員やALTに選んでもらうことで、児童の「伝えたい」という意欲を高める。
- 言語活動及び中間指導の繰り返しにより、児童のコミュニケーションスキルの向上を目指す。
- 学習内容の理解を深めたり、コミュニケーションを円滑に進めたりするために、視聴覚教材を示す等、ICTを効果的に活用する。

4 本時の学習

目標		作成したオリジナル給食メニューについて、友達と伝え合うことができる。	
展開			
過程	時間	学習活動	指導上の留意事項
導入	10分	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>①Greeting ②Small Talk 昨日食べたもの ③教師のデモンストレーションを見て、本時の活動を知る。 ④今日のめあてを確認する。</p>	<p>○元気よくあいさつをしたり、テンポよく曜日や天気を確認したりすることで、外国語の学習の楽しい雰囲気をつくる。</p> <p>○本時で特に大切にしたいゴールデンルールを伝え、児童が意識しながら活動できるようにする。</p> <p>○イラストを基にT1とT2とでやり取りを行い、それを児童に聞かせることで、どんなやり取りなのかを児童につかませる。</p> <p>○T1とT2とでデモンストレーションを行うことで、本時の活動への見通しをもたせる。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【めあて】オリジナル給食メニューを友達に伝え合おう。</p> </div>	
展開	25分	<p>2 オリジナルレシピを紹介し合う。</p> <p>①やり取りをする。 ②中間指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目のやり取りを基に、オリジナルメニューを紹介する際、どんな内容を伝えるとよいか、アイデアを出し合う。 ・ 食材を表す英語や、食べ物の産地やどの栄養素のグループに入るかなどの言い方を確認する。 <p>③ペアを変え、複数の友達と再度やり取りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(やり取りの例)</p> <p>(A>Hello. (B>Hello. This is my special lunch. A hamburger, a salad, a corn soup and an orange. (A)Do you like hamburgers? (B)Yes. It's a cheese burger. This cheese is from Hokkaido. Cheese is in the red group. (A)It looks delicious.</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【期待される学びの姿】 おすすめポイントなどを付け加えたり、一言コメントを返したりしながら、お互いの考えた給食メニューを紹介し合っている。</p> </div> <p>3 友達の紹介を聞いて、食べたくなったメニューを紹介し、感想を伝え合う。</p>	<p>○やり取りの際、決まった型として表現を固定せず、例のみを示すことで、児童がペアで既習表現等を使って、自由にやり取りをすることができるようにする。</p> <p>○中間指導では、「より詳しく相手に伝えるためには」「本当の給食メニューにするにはどんなメニューがいいか」などを問いかけ、やり取りの際にどんな英語を使って紹介すればよいかを確認する。</p> <p>○活動の途中で、うまく伝えられている児童を紹介したり、難しいと感じたことを全体で共有したりするなどしながら、やり取りの際の課題を出し合い、それを基に全体練習や個人練習を行うことで、2回目のやり取りでは児童が伝える内容や表現を増やし、自信をもってコミュニケーションができるようにする。</p> <p>○食材の産地や栄養素のグループの言い方を確認する際は、必要に応じて実際の広告や家庭科の教科書を活用し、児童が伝える内容に困らないようにする。</p> <p>○プラスワンセンテンスとして、可能な児童は自分の考えたメニューのテーマや特徴に合わせて名前を付けたり、1文付け加えたりして伝えるようにする。</p> <p>○友達のレシピ紹介を聞いて、自分の感想を一言コメントで返すことができるように、”Sounds good.”、”Nice.”、”It looks delicious.”などの反応する言葉をいくつか紹介し、やり取りの際に使うように促す。</p> <p>○やり取りを進める中で、産地や栄養素を伝える食材の量を増やしていくなどして、1回目からのレベルアップを目指す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【具体の評価規準】</p> <p>【聞くこと】 <思考・判断・表現> (行動観察)</p> <p>【話すこと(やり取り)】 <思考・判断・表現> (行動観察)</p> </div> <p>【到達していない児童への手立て】</p> <p>○指導者と一緒に言ったり、ヒントを示したりして活動を支援する。</p>
終末	10分	<p>4 学習のまとめと振り返りを行う。</p> <p>◇自分の考えたレシピをみんなに伝えることができた。 ◇プラスワンのコメントを言うのが難しかった。</p>	<p>○単元、本時のめあてを再度確認し、本時の学習のできるようになったこと、分かったこと、気付いたこと、次に学習してみたいことなどの視点に沿って振り返らせる。</p> <p>○T1及びT2から活動に対する気付きを述べることで、次時の学習への意欲を高める。</p>

【板書計画】

11/30 * U6 Let's think about our food.

Tuesday

めあて

オリジナル給食メニューを友達に伝え合おう。

14:05

Unit's Goal

お互いの考えや好み、世界と日本とのつながりをよく知るために、自分だけのオリジナル給食メニューを考え、友達やALTの先生と伝え合おう。

<伝えることの例>

- ①自分の考えたメニューやその食材
- ②産地や栄養素
- ③自分の好きなものやおすすめ
- ④<プラスワン>
自分のメニューを一言で表すと？

⑤感想

<オリジナル給食メニュー>



振り返り